

〈本校の組織目標〉

伊奈東中学校は

生徒の魅力と能力を引き出し  
人に好かれる人間を育てる  
学校です。

本校につながる、本校を支える テーマ・方向性

本市の目指す教育

県教育指導方針テーマ

子どもたちがしあわせな未来を送るための学校教育

すべての子どもの可能性を引き出す  
活力ある学校づくり



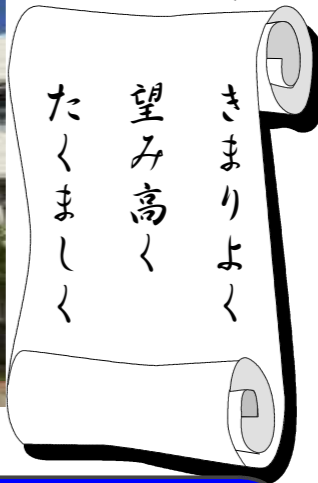
本校の教育目標

共に学び確かな学力を身につけ、  
心豊かでたくましい生徒の育成

目指す学校像

生徒が主役、高い目標で団結する学校

校訓



「人に好かれる人間」「学びに向かう力」

本校は「学びに向かう力・人間性」に着目し、  
点数では測れない「学力」も大切にします。

「学びに向かう力」とは、どのように社会や世界とかわり、よりよい人生を送るのかにかかわる資質・能力です。本校の「学び」では、習得した知識・技能をどのように思考・判断・表現していくか、その方向性を決定づける重要な要素である「学びに向かう力」を重視します。自己の考えを表現し、他との交流をとおして相互に学び高め合う生徒の姿を目指します。それはテストの結果として、すぐには点数として現れないかも知れませんが、将来、生徒が幸せになるために必要なコンピテンシーとして大切にしたいと考えます。

「人に好かれる人間」となるための要素は、「思いやり」があったり、「明るい性格」であったり、「誰に対しても平等」であるなど様々あると思いますが、共通することは、人を惹きつける魅力の有していることではないでしょうか。生徒一人一人がもっているよさや魅力を見取り大切に育んでいきます。本校では、「人に好かれる人間」を育てるにあたり、次の8つの態度をキーワードとして、生徒の人間性を育てていきます。①愛する心、②他者に対する受容・共感・敬意、③協力する心、④よりよい社会を実現しようとする意識、⑤知的好奇心・探究心、⑥正しく生きようとする心、⑦困難を乗り越える力（レジリエンス）、⑧向上心です。

〈重点目標と努力点〉

**確かな学力を育てる**  
◎分かる授業による基礎基本の習得  
→学・学質問紙(授業がよく分かる) 肯定的回答90%以上  
→学力診断テスト県平均±0  
◎授業規律と学習習慣の確立  
→起立しての発言・話し手に体を向けて聴く100%

**豊かでたくましい心を育てる**  
◎支え合い高め合う学年・学級づくり  
→QUテスト学級生活満足群50%以上  
◎予防的・開発的生徒指導の推進  
→学・学質問紙(学校に行くのが楽しい) 肯定的回答90%以上  
不登校生徒0名  
◎マナーアップと規範意識の向上  
→規範意識調査肯定的回答90%以上

**健康な体を育てる**  
◎望ましい生活習慣と保健指導の充実  
→う歯未処置者15%未満(9/1)改善  
◎体力向上の推進  
→体力テストA+B 50%以上維持

**主体性と実践力を高める**  
◎生徒会活動(委員会等)の活性化  
→委員会活動自己評価A800%以上  
→体育祭、秋陽祭満足度95%以上  
◎ボランティア活動の推進  
→朝ボラ(朝の清掃活動)の実施率100%

**開かれた学校づくりを推進する**  
◎積極的な情報発信と学校公開  
→HPの毎日更新(休日を除く) 更新目標250回  
◎家庭・地域・関係機関との連携  
→学校だより、学年だより、学級だよりの定期的発行  
◎小中連携の推進  
→小中交流活動年間5回実施

**教職員の資質向上**  
◎授業力の向上(授業研究の実施)  
→一人年間2回以上の授業公開  
→生徒の考えをつなぐ言葉かけができる教員  
◎ゆとりを生む職場環境づくり  
→働き方改革の推進(45h超を0に)  
→ワークライフバランスの実現(勤務以外の時間の充実)

**安全・安心な学校づくり**  
◎安全教育、防災教育の実施  
→実際に想定した訓練の実施  
◎危機管理意識の向上  
→適切な安全点検、危険予知・危険回避能力の育成

自分づくりの場

生徒がしあわせな未来を切り拓けるよう支援する学校

**自己実現力**

- 「なりたい自分」を思い描き、実現できるよう支援します。
- 誰もが夢や希望を抱けるウェルビーイングを目指します。
- 多様性を認め合える共生社会の実現に向け、環境を整えます。
- 広い世界で活躍するグローバル人材を育てます。

かかわり合う場

仲間と対話・交流しながら高め合える学校

**協働的な学び**

- 他との交流をとおして、相互に高め合える授業を作ります。
- 構成的グループエンカウンターを核に、人間関係形成力を高めます。
- よりよい聴き手を育てます。
- 地域から信頼され応援され、地域とともにある学校を目指します。

自己の魅力を実感できる場

誰にとっても居心地がよく、安心できる学校

**自己肯定感**

- 「教室はまちがうところだ」を合言葉に挑戦する意欲と姿勢を大切にします。
- 「できた・やり遂げた」という自信と達成感を味わえるよう見守ります。
- 生徒の可能性を引き出せるよう、多角的・多面的に生徒のよさを見取ります。
- 困難に直面しても乗り越えるしなやかさ(レジリエンス)を育みます。

教職員が生き生きと教育活動に取り組めるようになるための働き方の改善

○同僚性の醸成 ○定時退勤日の設定 ○計画年休の取得 ○校務支援システムの活用 ○運営方針に基づく部活動運営 ○外部人材の活用

生徒・保護者・地域から信頼される学校であり続けるために

○コンプライアンス研修の継続 ○ヒヤリ、ハット体験の共有 ○不祥事を自分事としてとらえる ○性弱説の視点からの対策

〈目指す生徒像〉

- 自ら考え、正しく判断し、表現できる生徒
- 思いやりの心を持ち、助け合うことができる生徒
- 体を鍛え、礼儀正しい生徒